

# ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・12月号・付録  
2015年12月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年3月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510  
ホームページ <http://www.houkon.jp/>  
Eメール [kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp)  
編集・藤田真文

## 第53回上期ギャラクシー賞 各部門の選考会はじまる

### —10月理事会報告—

2015年10月21日、10月理事会を開催した。

#### 1. 委員会活動報告

##### ◇出版事業委員会 飯田委員長

・10月15日に編集会議を開催した。12月号の特集は「戦後70年を放送はどう伝えたのか 後編」。民放からのアンケートを元に作成したが、予想よりも分量が多く、アンケートを生かすためにも増ページが必要となったため、4ページ増とする。紙代、製版代などの増ページ費用は、アンケート分は原稿料が発生しないので、予算内に収められる予定。

・2016年1月号の特集は「放懇セミナー報告」「第53回ギャラクシー賞上期発表」。表紙は堤真一さん、パーソンは田中晃さん。2月号の特集は「テレビとネット

の連動20年」の予定。

##### ◇選奨事業委員会 藤久委員長

##### 〈テレビ委員会〉 古川副委員長

・第53回ギャラクシー賞上期の参加作品は184本で、前年より59本増となった。11月3日に選考会を開催する予定。

・9月31日に9月度の月評会を開催して、NNNDキュメント15「能登消滅 9分の8の衝撃」(テレビ金沢)、金曜ナイトドラマ「民王」(テレビ朝日)、報道特集「攻防の末：安保関連法が成立」「立憲主義と国のあり方を問う」(TBS)、「ど根性ガエル」(日本テレビ)の4本を選出した。

・藤田専務理事より委員の負担を減らすためにも、今回のように参加本数が多い場合の選考方法を委員会検討してほしいとの意見が

あった。

##### 〈ラジオ委員会〉 橋本委員長

・10月19日に定例会を開催した。

・「東京まちかど☆天文台」(TOKYO FM)と「壇蜜の耳蜜」(文化放送)それぞれ30分の番組を試聴した。

・第53回上期の参加作品は37本で、前年と同数だった。選考会は28日、29日に開催の予定。

##### 〈CM委員会〉 稗田委員長

・10月20日に定例会を開催した。今回は32本の気になるCMについて話し合った。

・上期の参加本数は140本で、前年よりも3本増えた。今回特徴的なのはローカルCMが18本と多いことで、選考会は26日開催の予定。

##### 〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

・上期の参加本数は11本で、前年よりも2本減ったが、10本を超えたのは良かった。選考会は24日開催の予定。

・11月7日に専修大学神田校舎5号館で開催する「制作者と語る会」の事前受付中。放送人の会の会員にも「制作者と語る会」の告

知をお願いした。この件で音理事長が放送人の会と話をし、今後お互いに情報交換して、イベントなどの有益な情報を互いの会員に知らせることにしたとの報告があった。

◇企画事業委員会 桜井副委員長

・次回はテレビを取り上げる予定だが、具体的な検討は26日の会議で行なう。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

・WEBサイトツリー。全体のペー  
ジ構成案を提出。会員特典は、マイ  
ベストTV賞の投票、放懇のイベン  
トへの割引参加、GALAC電子版  
閲覧など。ポイント制をとり、ポイ  
ントを貯めてプレゼントと交換でき  
るなどを想定している。ポイントの  
管理運用技術はデータニユース社の  
ノウハウを生かす。

## 2. その他

### ①退会の件

維持会員

現代センター（2015年12月）

### ②準会員制度の件

事務局案、理事回答、マイベストTVプロジェクト推薦を提示。討議の結果、名称は「放送批評懇談会オン

ライン会員『Gメンバー』に決定。

↓承認。年会費は「GALAC」電子販売価格を考慮して、年会費3000円、半年2000円とする。  
↓承認。

③日韓中テレビ制作者フォーラム

28日から韓国で開催される日韓中テレビ制作者フォーラムに飯田みか常務理事を派遣する。

### ④その他

坂本理事から「GALAC」について議論したいとの提案があった。

「11月号パーソンの今野勉さんにはもつとほかに聞くことがあったのではないか」との指摘について討議。

飯田編集長からは「今回のインタビュは日韓中制作者フォーラムについてが主だった」との答えがあった。出席理事からは「違和感を感じなかった」との発言があった。

また、「11月号と12月号の戦後70年の特集に意味があるのか」には「60年と比べると意味が出てくる」「1年かけてもよかった」「総括的な記述はほしかった」「GALACとしてもう少し何か出来ることはあったのでは」「番組一覧にしたことで戦後70年関連番組の傾向がわかったの

ではないか」「今回の議論を参考に来年の東日本大震災と絡めた記事がほしい」などの意見がでた。

◆次回以降の理事会

11月 11月20日（金）

12月 12月17日（木）

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、飯田みか、藤久ミネ、稗田政憲、鈴木嘉一、滝野俊一、石井彰、入江たのし、碓井広義、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、古川柳子、山田健太、中島好登

## 会議記録

〔10月〕

15日

19日

20日

21日

26日

出版編集委員会

（選奨）ラジオ定例部会

（選奨）CM定例部会

理事会

企画事業委員会

